

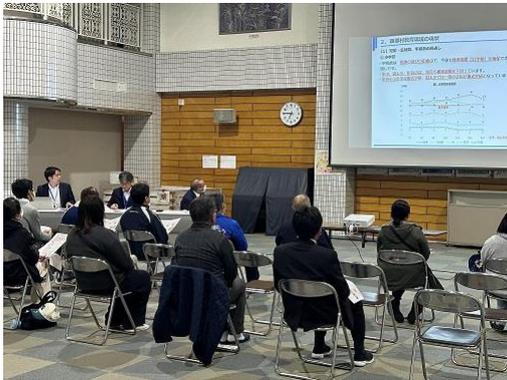
# 地域懇談会について

## 1. 目的

「西郷村 望ましい教育環境のあり方に関する基本構想(案)」に関して地域住民への説明を行い、学校再編に対する心配事や期待することなどの意見を収集しました。

## 2. 開催概要

実施場所	日時		参加人数
熊倉小学校	令和7年11月5日	18:30~20:00	14
小田倉小学校	令和7年11月6日	18:30~20:00	17
米小学校	令和7年11月17日	18:30~20:00	7
羽太小学校	令和7年11月10日	18:30~20:00	7
川谷小学校	令和7年11月12日	18:30~20:00	11
文化センター	令和7年11月18日	18:30~20:00	13



■学校再編に対する心配事

トピック	概要	開催場所					
		熊倉	小田倉	米	羽太	川谷	文化センター
通学環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学距離が長くなることで、事故のリスクや共働き世帯の送り迎えの負担、部活・クラブ活動で遅い時間の帰宅になる場合の危険性が高くなるのではないかと。</li> <li>・スクールバスについては、ドライバーを確保できるのか、西郷村全体をカバーできるのか、といった心配の声があげられました。</li> </ul>	●	●	●	●	●	●
教育環境	教育の質	●	●		●		
	部活動・クラブ活動		●		●		
	心のケア	●			●	●	●
放課後の居場所							●
地域との連携	地域コミュニティ	●			●	●	
	伝統の継承	●					
再編の進め方	再編の時期		●	●	●		
	情報発信	●	●		●	●	
	再編の準備		●				●
	住民意向の把握					●	●

■学校再編に期待すること

トピック		概要	開催場所					
			熊倉	小田倉	米	羽太	川谷	文化センター
教育環境	教育の質向上	・専門的な教員の確保や、生徒一人ひとりに目を配れる適正な教員数を確保してほしい。	●	●	●		●	●
	集団での学び	・一定の生徒規模を確保することで、子どもたちの交流や競争が生まれ、自立・共生する力や学力の向上につながるのではないか。	●	●	●	●		●
	魅力的な学校	・西郷村全体の魅力を活かした学校とし、西郷村の子どもは西郷村の学校に通い、白河からも通いたいと思われるような学校にしてほしい。				●	●	●
	補助の充実	・修学旅行や英検などに補助があると良い。		●				
	部活動・クラブ活動の充実	・人数が確保されることで部活動の選択肢が増え、子どもが夢を持てる機会が多くなる。 ・統合によって指導者の負担も減り、部活動の質向上につながるのではないか。	●	●	●	●		
ハード面	新校の場所	・再編後の学校の場所については、通学環境や人口、施設立地状況など様々な視点を踏まえた配置としてほしい。		●				●
	施設・設備の充実	・生徒たちが安全に過ごせ、バリアフリーに対応した施設が必要である。		●	●			
	整備・維持管理の効率化	・整備や維持管理の面から、学校を併合することのメリットは大きいという意見があげられました。	●			●		
通学環境の改善		・再編によって学校が遠くなった子どもでも通いやすいような仕組みづくりをしてほしい。	●	●				
子どもの居場所確保		・学校時間外に子どもたちが集まれる場所があるといい。		●				
地域との連携	地域との関わり	・地域住民も使える学校にしてほしい、子どもたちの郷土愛を醸成できる学校にしてほしい。		●	●			
	伝統の継承	・再編にあたって、新しい伝統をつくるといった視点も必要ではないか。		●	●			
小中学校の連携		・再編により、小中学校間の連携が取りやすくなるのではないか。		●				
早期の着手		・10年以内に再編を進めてほしいなど、早期の着手を望む意見があげられました。		●	●	●		●
旧校舎の活用		・併合後の旧校舎の効果的な利活用も含めて検討してほしい。	●			●		

西郷村 地域懇談会意見まとめ

■熊倉地区

カテゴリー	トピック	意見
学校再編に対する心配事	通学環境	通学距離が長くなることが不安。雨や雪の時や、部活動によって時間が遅くなることにも配慮してほしい。
	通学環境	スクールバス中での生徒同士の関わりが不安。スクールバス内でも目配りが必要。スクールバスに見守り隊が同乗してはどうか。親にとっても安心できる。
	心のケア	1校になると他校に転校するなどの逃げ場がなくなってしまうのではないかと。
	教育の質	生徒数が少ない方が学力の向上が望めるのではないかと。
	地域コミュニティ	見守り隊の高齢化が心配。
	伝統の継承	各校の伝統行事はどのようになるのか。
	情報発信	不安を解消するための対策を村民にしっかり発信してほしい。
学校再編に期待すること	集団での学び	いじめ問題は深刻である。小さい学校では人間関係、コミュニティが固定化されてしまうが、生徒が多い学校だとクラス替えなどによって逃げ場ができる。
	集団での学び	学校の規模適正化は小・中学校同時に進行しても良いのではないかと。複式学級ができると、人との関わりの機会が少なくなる。学力の面でも、一定の生徒規模を確保することは競争につながり学力向上につながる。
	部活動・クラブ活動の充実	部活動の観点からも、学校を統合する利点がある。人数が確保できていれば、子どもの選択肢も増え、他地域の学校ではできない部活もできる可能性がある。
	部活動・クラブ活動の充実	地域クラブ運用の検討も必要である。統合によって、顧問の先生の充実につながるのでは。
	教育の質向上	教員の質向上も必要である。人口減少を踏まえると、やはり統合・併合することが望ましい。早めに進めてほしい。
	校舎の活用	運動場やグラウンド、体育館など、しっかりしたものを整備してほしい。統合した後の旧校舎も適切に活用を検討してほしい。
	地域との関わり	川谷の特認校としての役割は、県南全体で考えるべき問題であると考えている。
	魅力的な学校	文武両道の教育環境づくりを進めてほしい。白河の子どもたちも西郷に呼び込めると良い。
	集団での学び	宿泊学習の実施など、生徒児童数が多いところの方がメリットが大きい。
	整備・維持管理の効率化	学校の整備予算・維持管理の面でも学校を統合することのスケールメリットは高い。
	通学環境の改善	統合に際しては、通学方法への配慮は十分に行う必要がある。統合したことによって学校が遠くなった子どもも通いやすいような仕組みづくりをしてほしい。
	質問	
		学校の場所はどのように検討していくのか。

■小田倉地区

カテゴリー	トピック	意見
学校再編に対する 心配事	通学環境	通学距離が長くなる。
	通学環境	スクールバスのドライバーは確保できるのか。
	通学環境	通学の仕組みは継続的に議論を進めより良いものを作り上げていくべき。
	情報発信	村民に早めに情報提供をしてほしい。住宅を持つときに重要な条件になる。
	情報発信	学校再編について、小中一貫校とすることも可能性として示したうえで検討してほしい。
	情報発信	HP等で早めに広報してほしい。
	再編の時期	10年かけて大丈夫か。
	再編の時期	目標年があった方が着実に進むのではないかと
	教育の質	現状の各校に2学級あり、3校あるという形の方が競争が生まれやすいのではないかと。このままの学校数でもよいのではないかと。と思う。
	部活動・クラブ活動	文化系の部活動にも十分配慮してほしい。
	再編の準備	制服は早めに統一しても良いのではないかと。
学校再編に 期待すること	集団での学び	人間関係が固定化されないよう、2クラスではなく3～4クラスの学校が良い。
	集団での学び	子どもの数や部活に配慮すると統合は仕方ない。 適正な生徒数の中で子どもたちが切磋琢磨できると良い
	地域との関わり	学校は地域のコミュニティの場としての機能もある。そういった機能は残すべき。
	地域との関わり	地域の人も参加・使える学校にしてほしい。
	地域との関わり	学校+文化センターなど併設されていれば地域の人が足を運ぶことができる。
	部活動・クラブ活動 の充実	泉崎中学校のように、中学校の近くにスポーツ施設があるような場所だと良い。
	教育の質向上	専門的な教育ができる人がいて、本物を子どもに教えてあげられると良い。
	通学環境の改善	新しい学校は交通の便が良いところにしてほしい。
	地域の負担軽減	部活動が統合できれば地域で教える人も少なくて済む。
	小中学校の連携	中学校の併合に合わせて、小学校と中学校がより一体的に連携できると良い。
	子どもの居場所確保	学校の時間外に子どもたちが集まれる場所が学校にあると良い。
	新校の場所	将来的に移住者を呼び込むため駅に近い場所に統合中学校を整備した方が良いのではないかと。
	施設・設備の充実	冷暖房は完備してほしい。
	補助の充実	修学旅行の補助や英検の補助は配慮してほしい。
	集団での学び	外国人が多いという西郷村の特色を活かした英語学習の強化などができるのではないかと。
	早期の着手	なるべく早く対応すべき
	伝統の継承	新しい伝統を作るという視点も必要。
	施設・設備の充実	第三者が学校に入るのであれば安全確保が重要。
質問		中学校の場所はどこにするのか。
		義務教育学校とはしないのか。
		統合はどの時期を見据えているのか。
		5, 6歳児の親の意見は聞いているのか。
		小中一貫校の相双、郡山の事例はみているのか
		吹奏楽の地域移行は検討しているのか。
		米小学校は再編しないのか。
		小田倉小の移転は検討しているのか。
		小田倉小学校の校舎はいつまで使用できるのか。
		西一中の体育館はどう利用するのか。

■米地区

カテゴリー	トピック	意見
学校再編に対する心配事	通学環境	併合するためには <u>スクールバスなど課題をしっかりと解決する必要がある。</u>
	通学環境	併合は賛成だが、 <u>部活など遅い時間の帰宅をどうするのか、共働き世帯の送り迎えにも配慮が必要。</u>
	再編の時期	併合を進めるにあたっては、 <u>何年以内に進めるなど目標を明確にしてほしい。</u>
学校再編に期待すること	教育の質向上	小学校が多い村は誇り高いが、 <u>多人数で学べた方が質の高い教育ができる</u>
	早期の着手	老朽化している校舎については、 <u>何かあってからでは遅い。10年以内に中学校の併合を進めてほしい。</u>
	部活動・クラブ活動の充実	生徒数が多いと部活など子どもたちの選択肢が増える。
	伝統の継承	羽太の念仏踊りも村全体の伝統として捉えるべきではないか。
	施設・設備の充実	バリアフリーの考え方は必要。 ハンディキャップのある子どもも質の高い教育が受けられる環境が必要。
	集団での学び	子ども同士で集まって、 <u>人と人の付き合いが学べるような学校である必要がある。</u>
	部活動・クラブ活動の充実	クラブ活動についても、 <u>村全体で地域の担い手要請が必要である。</u>
	地域との関わり	将来の子どものため、 <u>西郷愛を醸成できるような良い学校をつくってほしい。</u>

■羽太地区

カテゴリー	トピック	意見
学校再編に対する心配事	通学環境	通学の問題については、 <u>事故のリスク、時間の制約など解決すべき問題が多い。</u>
	通学環境	通学距離の問題は <u>統合ありきではなくクリアすべき問題である。</u>
	通学環境	中学校が1つになると <u>通学の負担が大きい。エリアが広くても通えるようにしてほしい。</u>
	通学環境	<u>スクールバス等の対応策についても同時に議論すべき。</u>
	情報発信	12学級が必要規模であることの説明が必要。 <u>人口減少、少子化が教育に及ぼす影響をより深く説明すべき。</u>
	情報発信	統廃合をするにあたって、 <u>メリット・デメリットを出し切って議論する必要がある。子どもを中心とした議論、説明をしてほしい。</u>
	情報発信	<u>生徒を対象にしたワークショップの結果をもっと示してほしい。</u>
	心のケア	羽太は生徒数が少ないため、 <u>大人数の学校へ行くことの不安は大きい。交流の機会は早いうちから設けるべきではないか。</u>
	心のケア	<u>大きな学校に通うことへのストレスが少なくなるようにするべき。</u>
	部活動・クラブ活動	スポ少も少ない。交流機会が減少している
	教育の質	<u>学習面で教員の充実が必要。統合以外の手段も検討するべきではないか</u>
	地域コミュニティ	羽太は残してほしい。 <u>学校があることによって地域内の交流が生まれる。</u>
	再編の時期	<u>中学校の課題は早期に解決するべきでは。</u>
	学校再編に期待すること	魅力的な学校
魅力的な学校		小田倉の人口が増えているのに西郷の生徒が増えない。白河の学校に通っている子どもが多い。西郷村の子どもは西郷村の学校に通ってもらえるような環境になると良い。
魅力的な学校		西郷村全体の魅力も活かせるような学校をつくってほしい。 魅力的な学校があれば白河からも生徒を呼び寄せられる可能性もある。
集団での学び		これからの子どものことを考えると、 <u>自分の子どもが学年に1人、2人の環境にいることは寂しい。ある程度生徒数がある環境で学んでほしい</u>
部活動・クラブ活動の充実		スポーツを集団でやることは、 <u>子どもたちが夢を持つためにも必要。</u>
校舎の活用		廃校利用とあわせた町おこしが必要。
早期の着手		一中を更新する前に併合を進めるべきではないか。
整備・維持管理の効率化		校舎を何か所にも置くことは今からは <u>厳しい。集約していくことは必要。</u>
質問		外国人の受け入れはするののか。

		老朽化している校舎は今後 10 年持つのか。
		統合した学校の学級数の規模はどの程度か。
		併合した小学校の校舎はどこか。

■川谷地区

カテゴリー	トピック	意見
学校再編に対する 心配事	通学環境	スクールバスは村内どこからでも受け入れるべきではないか。
	通学環境	西郷村全体の子どものことを考えて学校を配置していくべき。 スクールバスの運用も含めて多様な視点で考えてほしい。
	通学環境	川谷のスクールバスはせめてもう 1 路線確保してほしい。
	通学環境	特認校に通うのは保護者の責任という回答を受けている。 川谷に通わせたくても送迎の負担の面から選択できない人もいる。
	通学環境	福島交通なども活用してスクールバスとするなど、様々な視点から子どもたちの 通学負担を軽減するように検討してほしい。
	心のケア	学校に通いづらい子どもの居場所として川谷の役割があると考えている。川谷小 中学校についてはできるだけ存続させてほしい。
	心のケア	不登校の子どもが通える学校とそうでない学校がある。他の学校に通いづらい子 どもを川谷で受け止めてきたが、そういった川谷の役割は重要であるとする
	心のケア	川谷の <small>小中一貫校</small> は特色である。小中一貫校であることで通いやすい子どももい る。モデル校として残しても良いのではないかと。
	心のケア	グレーゾーンの子どもたちをどう支援していくかは十分に議論が必要。共生して いくことが必要であり、大人がともに育てていくことが多様性を認めることにも つながる。
	地域コミュニティ	川谷の学校と地域で子どもを育てる意識は大きな特徴である。残してほしい。
	地域コミュニティ	地域を存続させるために学校の果たす役割も大きい。
	地域コミュニティ	学校は地域の核である。小規模でも残すという判断も必要なのではないか。
	地域コミュニティ	小規模である方が「地域に開かれた」学校となるのではないかと。
	地域コミュニティ	郷土愛の醸成は小規模校にもメリットがある。統合の意味が本当にあるのか。
	情報発信	併合の目的はより明確に説明が必要である。税金など背景を十分に説明してほし い
	情報発信	地域でも人口減少が進んでおり、学校活動の担い手がいなくなっている。 なぜ併合を進めるのか、理由をはっきりしてほしい。
	住民意向の把握	アンケートだけで判断することは危険。地域意見の汲み取りは継続して進めてほ しい。今後計画を見直すような余白も必要。
	再編の進め方	併合ありきで考えるのではなく、併合の前段階でできることを模索するべきでは ないか。
再編の進め方	こどもが増えた場合は想定しないのか。人口を増やしていくという考えと逆行し ているような印象を受ける。	
支援センター	支援センター	支援センターに通う子どもが特別に見られてしまうのではないかと。子どもを分け る必要があるのか。
	支援センター	川谷からフリースクール（支援センター）に変わって、そこにはいきたくないとい う子どももいるのではないかと。そういった子どもを受け止めることも義務教育 の役割である。
	支援センター	学校の統廃合と支援センターは別に議論すべき問題である。
学校再編に 期待すること	魅力的な学校	西郷村全体を教育の村として打ち出せば、新たに西郷村の学校に通う人も増える のではないかと。
	教育の質	先生が適切な数確保でき、質の高い教育ができるような環境を作してほしい。
	教育の質	先生たちが子どもたち一人ひとりに目を向けやすい環境を作っていく必要がある 。事務作業の軽減なども検討すべき。
質問		地域に開かれた学校というのは具体的にどういうものか
		支援センターの職員は確保できる見通しか。
		基本目標を達成するために現状の学校数ではできないのか。
		どの学区も関係なくいきたい学校に通うようにはできないのか。

■文化センター

カテゴリー	トピック	意見
学校再編に対する 心配事	再編の準備	併合前から中学校間の連携・交流は必要ではないか。
	住民意向の把握	置かれている立場の違いがあるため、様々な意見を踏まえながら検討を進めてほしい。
	通学環境	保護者の送り迎えに配慮すると、再編後の学校の場所が重要。
	心のケア	校風が違う部分もあるため、配慮が必要。
	心のケア	再編後の子どもたちへのメンタルケアが必要である。グレーゾーンの子どもたちへのケアが重要。
	放課後の居場所	小学校が統合された場合、児童館はどうなるのか。放課後の居場所づくりが必要ではないか。
学校再編に 期待すること	早期の着手	長い時間で考えるのではなく早めに進めてほしい。スピーディーに進めることが必要。
	集団での学び	子どもが少ないと、自立・共生するために必要な力を養いにくい。生徒数が揃って学べることがある。
	集団での学び	少人数の学校には良さもあるが、生徒数が多いほうが子どもたち同士の関わりができる。
	魅力的な学校	統合は寂しい部分もあるが、生徒数が多い方が子どもたちも広い視野を持てる。子どもたちが夢を持てる学校をつくってほしい
	教育の質向上	中学校を一つにして質の高い教育ができる環境にしてほしい。
	新校の場所	学校の場所については、人口や周辺施設など、様々な視点から選定してほしい。
質問		部活動の種類が減るから併合するという説明だった。地域移行を進め、先生の負担を減らすことも進められていると思うが、それでも学校の併合は必要か。
		統合に向けた予算の確保は可能なのか。